



ぽっかぽか ひよこ組



新年あけましておめでとうございます。お正月はいかがだったでしょうか？

また、去年は日々の保育にご協力頂き、本当にありがとうございました。引き続き、今年も宜しくお願いします！さて、年が明け、いよいよ進級なども見えてくる時期がやってきました！たくさんの成長が見られる時期でもあります。一緒に楽しみながら、一つ一つのことを大切に、丁寧に過ごしていきたいと思います。



手づかみ食べをたくさん練習し、遊びの中でも細かい動きができるようになってきました。指先や手首の動かし方が上手になってきたことで、個々に応じてスプーンを持って食べているお子さんもいます。手掴み食べのお子さんもいます。そこで今回は、どのようにスプーンを導入し、どんなことに気を付けているかをご紹介します。と思います。


子ども用のスプーンには、太いグリップをつけて握りやすいようにしています。



握る力が弱くても、しっかりと握ることができます。

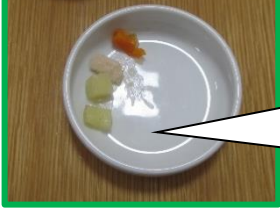


①



まずは一口量をスプーンに乗せておき、自分でスプーンを持って口に運んでみる事から始めます。

②



スプーンを口に運ぶことに慣れてきたら、一口量ずつ小皿の左側に入れ、自分ですくって食べてみます。

③

すくうことが上手になったら、自分で一口量をすくう練習をしていきます。

口の正面からスプーンが入るように大人が肘を支えるなど、必要な手助けをしています。



スプーンで上手にすくうためには、両足をしっかり床につけ姿勢よく座れるか・手首はやわらかく動くか・肘が上がっているか…等、気に掛けるポイントがたくさんあります。スプーンを始めたばかりの子ども達、これらを行おうのはまだまだ難しいです。でも、大人が工夫をし、その場に合った支援をすることで、子どもの「できた！」が増えることがあります。その子の成長に合わせて大人は支援をし、スモールステップで少しずつ少しずつ出来ることを増やし、たくさん褒められて子どもたちのやる気も更にアップ↑するよう、食事は楽しく！取り組んでいます。遊びの中でも蓮華を使ってお手玉をすくう遊びや、戸外の長久保公園の鉄棒につかまって肘をあげたり、握ってぶら下がったりなど様々な方向から楽しみながらスプーンを使うためのアプローチをしています。少しらい持ち方が違って、口への入れ方が違って大丈夫！否定せず、まずはやってみたことをたくさん褒め、徐々に正しい持ち方を知らせていこうと思っています。個人計画でスプーンの過程も細かくお伝えしていきますので、何かご不明な点がございましたらいつでもお声がけください(^▽^)/

